

令和5年1月4日（日） 13時30分～14時30分

真冬の大島干潟～新春の風景

新たな2023年（令和5年）を迎えた大島干潟の風景をお届けします。新春の陽射しに照らされ、暖かいかなと思ったのもつかの間、海岸に入っていくほど、風が冷たくなり、真冬の寒さを感じました。

その中で、印象に残ったのが、海のきれいさです。穏やかに繰り返し動く、透き通るような波は、ミルやホンダワラなどの海藻を見ることが、できました。



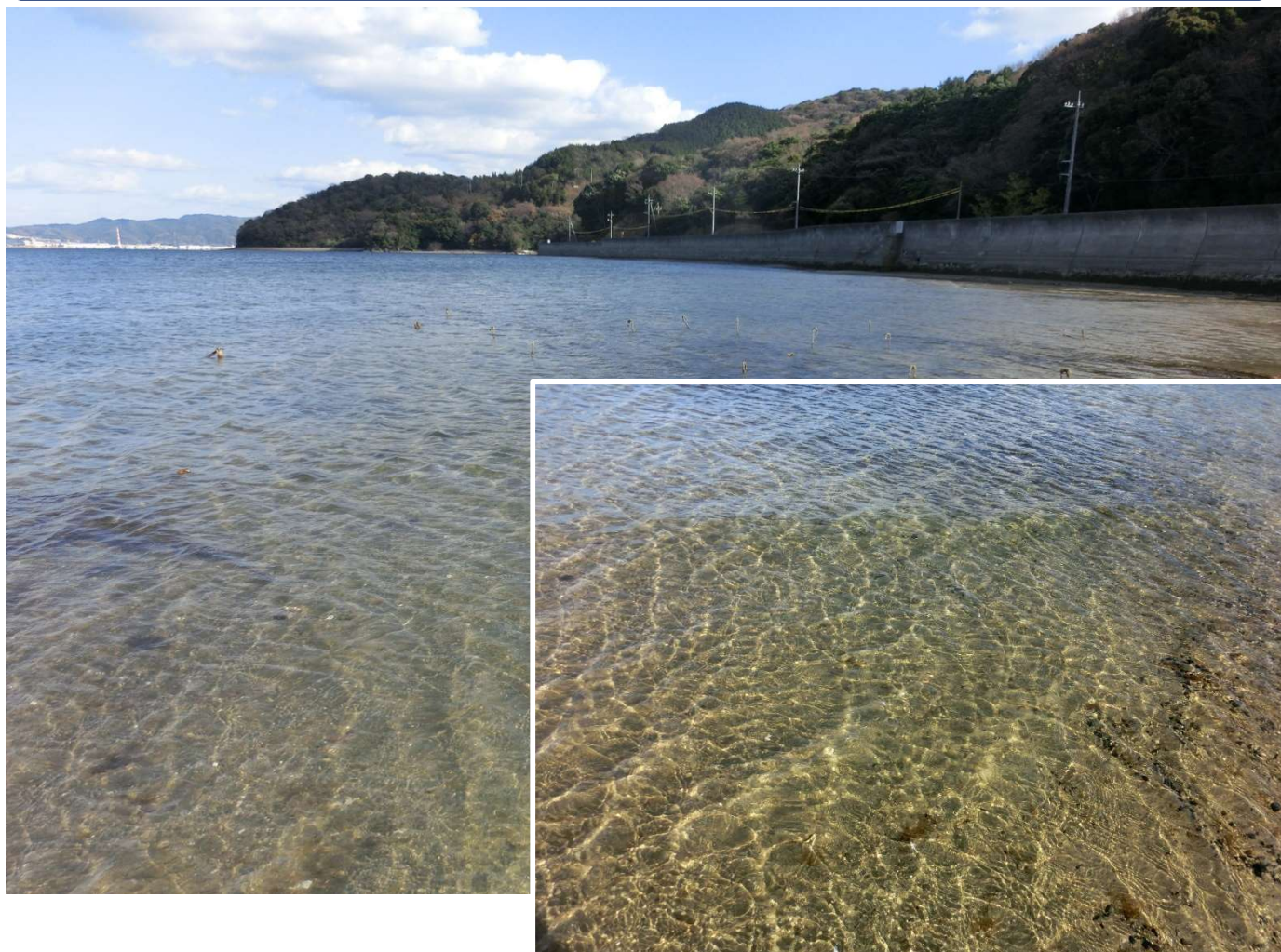
劇画風タッチで撮影した写真です。青空と白い雲のコントラストが鮮やかです。



アマモ・コアマモが、打ち上げられています。春に向けて期待が膨らみます。

海の透明さ

これほどの透明感は、冬でないと見れないのかもしれませんが。



ミル

海藻の一種で、世界の熱帯から温帯の海に広く分布し、浅い海中の岩礁上などに生育します。



ホンダワラ

褐藻類のホンダワラ科に属する海藻の一種で、また、ホンダワラ科の海藻には多くの種類があります。

アマモの種 速報 昨年の12月に蒔いたアマモの種を引き上げてみました。



アマモの種と腐葉土・砂をガーゼで包み、海に沈め、25日が経過しました。引き上げて見るとしっかりと種から芽が出ているのが、わかります。ここからどうやって、根を張るのでしょうか。楽しみです。

真冬の大島干潟 風景 いろんな方向から風景写真を撮影してみました。

